令和5年第4回取手市議会定例会議事日程(第1号)

令和5年11月29日(水)午前10時開議

日程第1	会議録署名議員の	D指名
日程第2	会期の決定	
日程第3	諸般の報告	
日程第4	議案第54号	取手市監査委員条例及び取手市長等の損害賠償責任の一
		部免責に関する条例の一部を改正する条例について
	議案第55号	取手市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部
		を改正する条例について
	議案第56号	取手市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
		について
	議案第57号	取手市火災予防条例の一部を改正する条例について
	議案第58号	市道路線の認定について
日程第5	議案第59号	令和5年度取手市一般会計補正予算(第8号)
日程第6	議案第60号	令和5年度取手市一般会計補正予算(第9号)
	議案第61号	令和5年度取手市取手駅西口都市整備事業特別会計補正
		予算(第2号)
	議案第62号	
		2号)
	議案第63号	令和5年度取手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2
		号)
	議案第64号	令和5年度取手市介護保険特別会計補正予算(第2号)
日程第7	同意案第4号	取手市固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意
		について
日程第8	請願第43号	保育士等の処遇改善に関する請願
日程第9	市政に関する一般	安質問 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	①染谷 和博	議員
	②海東 一弘	議員

③須田 光雄 議員

地方自治法第121条により令和5年第4回定例会への出席を求めた者及び委任を受けた説明員

1. 出席を求めた者

取			手				市			長	中	村		修
取	手	市	教	育	委	員	会	教	育	長	伊	藤		哲
取	手	市	農	業	484	委	員	会	会	長	倉	持	光	男

取手市選挙管理委員会委員長小 池 健取 手 市 代 表 監 査 委 員石 橋 大 輔取手地方公平委員会委員長大 峰 芳 樹

2. 委任を受けた説明員

総			務			部				長	鈴	+	4	江
選	挙	管	理	委	員	会	書	ŧ	記	長	亚巾	木	文	江
政		策	ŧ	隹	追	É	1 2	部		長	齋	藤	嘉	彦
財			政			部				長	田	中	英	樹
福			祉			部				長	彦	坂		哲
健		康	ŧ	曽	追	É	1 2	部		長	渡	来	真	_
ま	ち	づ	<	V) {	振	興		部	長	野	П		昇
建			設			部				長	前	野		拓
都		市	見		偱	Ħ	<u>t</u>	部		長	浅	野	和	生
会		計		乍	学		理			者	石	塚	幸	夫
会	計	į	果	長	事	Ž	簩]		扱	Ų.	塚	羊	大
総		務		台	羽		次			長	斉	藤	理	昭
安	全 5	安心	,対	策	課	長	事	務	取	扱	Ħ	席	垤	μД
福		祉		岩	祁		次			長	下	田		浩
社	会	福	祉	課	長	事	移	5	取	扱	_	Щ		行

総		務		部	総		7	務		課	į	長	松	崎	:	岡川
					選	挙管	理	[委]	€	書	記長袖	献佐	4	μП		l _m 1,1
					人		-	事		課	Į	長	軽	部	幸	雄
					情	幸	Ž	管	理	Į.	課	長	岩	﨑	弘	宜
					市	Þ	7.	協	偅	h	課	長	海	老	原	充
					市		ļ	民		課	Į	長	安	田	徹	也
					取		手		支		所	長	染	谷	和	之
					藤	代	総		窓		口課	長	金	子	秀	明
					総選	彩 挙管	-	課	畐 員 <i>会</i>		参 主任書	事記	土	谷	靖	孝
					人	事	<u>;</u>	課	畐	IJ	参	事	Ц	下		拓
政	策	推	進	部	政	穿	į	推	迮	É	課	長	髙	中		誠
					秘		177	書		課	Į	長	丸	Щ		博
					魅	力	لح	り	でタ	発	信課	長	立.	野	啓	司
					文	1	<u></u>	芸	犲	Ť	課	長	飯	Ш	貴与	. 子
財		政		部	財		Ī	政		誹		長	海	老	原輝	
					管		J	財		誹	Į	長	木	村	太	
					公	共	施	6 設	整		備 課	長	原	部		樹
					課		Ĵ	税		課		長	稲	村		弘
					納		_	税		誹		長	=	浦		司
					財	政		課	畐		参	事	谷	池		治
					管	貝	ł	課	畐	1	参	事	渡	辺		明
福		祉		部	高	歯		福	祖	_	課	長	秋	<u></u> 山		也
1124		,			障	<u>-</u> -		福	<u>···</u> 社	_	課	長	鈴	木		也
					子	育				援		長	佐	藤		子
					社	会	福				副参	事	根	本		人
					高	齢	福			_	副参	事	井	橋	久 美	
f. de			\//.	1	子	育	て		援調			•	松	崎		幸
煡	康	増	進	别3	健		づ.	<u> </u>		_	進課		香	取		弥
					玉	伢		年		Ž	課	長	関	Д	勝	己
					保	健		セ	ン	タ		長	助	JII	直	美
ま	ち	づ	<	り	産	業		振		•	課	長	数	藤	弘	人
振		興		部	農		Ī	政		課	Į	長	染	谷		久
					環	埻	Ź	対	穿	¥	課	長	됴	藤	智	徳
					環		境		対		策	課	大	隅	正	勝
					環	垺	Í	政	穿	Ť	室	長	人	PP	ш.	形分
					火担		場当		l 合 副		事 務 参	局事	牧	野	孝	浩
建		設		部	管			理		誹	Į	長	飯	竹	永	昌
					道	路	Z I	建			課	長	榎	根		
					排	カ	(対	穿	ž	課	長	飯	塚		稔
					水	と					の 課	長	蛯	原		雄
					管	理		課			参	事	山	田		也
					排			ナ 策			副参	事	仁			隆
都	市	敕	備	部	都	رر از	_	計	i in	_	課	長	大		保益	
יום	. 14	ᅭ	νm	нη	建	穿		指		÷	課	長	田田	中		士
						_				_	備課		中	<u>-</u> 村		幸
								整					÷			
					区	重					課	長	稲	葉	克	彦
					都都	市	政	(第		ì	画	課長	中	村		地
会		計		課	会	計	ŀ	課	畐	IJ	参	事	Щ	田	英	紀

教育委員会	教	育	部	長	井	橋	貞	夫
	教	育	参	事	伊	藤		誠
	教	育	次	長	木	111	£n	典
	教	育総務調	具長事務取	极	森	JII	和	央
	学	務	課	長	直	井		徹
	保	健 給	食 課	長	大	野	篤	彦
	指	導	課	長	丸	Щ	信	彦
	指	導	課	長	笠	井	博	貴
	教:	育総合支	援センター	-長	立	升	一一一	貝
	生	涯 学	習課	長	塚	本	豊	康
	子	ども青	少年課	長	長	塚	逸	人
	ス	ポーツ	振興課	長	刪	島		寿
	図	書:	館課	長	樋	П	康	代
	ふ	じしろ	図書館	長	蛯	原	雅	己
農業委	<u></u>	会 事	務局	長	浜	野	彰	久
監 査 委	員	事	務局	長	鈴	木	正	美
取手地方公	平	委員会	:事務局	長	本 自	/	44-	大

消	防	本	部	消	防					長	岡	田	直	紀	
				次総	務	課	長	事	務	取	長扱	仲	村		厚
				予		财	ĵ	Ī	課		長	満		健	_
				警		财	ĵ	Ī	课		長	中	村	幸	男
				取	手	1	消	防	1111	習	長	石	島	良	夫
				戸	頭	Į	消	防	1	署	長	抽	田	大	祐
				놤	田	1	消	防	1	習	長	福	田	義	久
				椚	木	τ.	消	防	111	習	長	齊	藤	正	巳

令和5年第4回取手市議会定例会会期日程

日次	期日	曜日	会議	時 刻	議事
1	11月29日	水	本会議	午前10時	開会、議案上程 一部議案質疑・討論・採決 請願上程・説明・質疑・付託 一般質問(染谷・海東・須田議員)
2	11月30日	木	本会議	午前10時	一般質問(佐藤・鈴木・久保田・ 杉山・落合議員)
3	12月1日	金	本会議	午前10時	一般質問(石井・結城・佐野・ 加増議員)
4	12月2日	土	休会		
5	12月3日	田	休会		
6	12月4日	月	本会議	午前10時	一般質問(根岸・細谷・関戸・遠山・ 岩澤・赤羽・齋藤議員)
7	12月5日	火	本会議	午前10時	議案質疑・付託
1	12月3日	火	委員会	本会議散会後	デモテック戦略特別委員会
8	12月6日	水	委員会	午前10時	総務文教常任委員会
9	12月7日	木	委員会	午前10時	福祉厚生常任委員会
10	12月8日	金	委員会	午前10時	建設経済常任委員会
11	12月9日	土	休会		
12	12月10日	日	休会		
13	12月11日	月	委員会	午前10時	議会運営委員会
14	12月12日	火	本会議	午前10時	委員長報告・質疑・討論・採決、閉会

会派名簿

R5.10.16現在

- 創和会(8名)
 - ◎岩澤 信

赤羽 直一・佐藤 隆治・金澤 克仁・小堤 修

鈴木 三男・海東 一弘・杉山 尊宣

- みらい (6名)
 - ◎山野井 隆

結城 繁・入江 洋一・石井めぐみ・関川 翔

須田 光雄

- ·公明党(4名)
 - ◎染谷 和博

齋藤 久代・落合信太郎・久保田真澄

- 日本共産党(4名)
 - ◎関戸 勇

加増 充子・遠山智恵子・佐野太一

【無会派議員】

細谷 典男

根岸裕美子

取手市議会組織図

令和5年10月24日現在

議長: 金澤 克仁 副議長: 落合 信太郎 議員任期 令和2年2月15日~令和6年2月14日

議会運営委員会 (8人)	総務文教常任委員会 (8人)	福祉厚生常任委員会(8人)	建設経済常任委員会(8人)	デモテック戦略 特別委員会 (8人)	一般会計決算・予算 審査特別委員会 (10人)
◎佐藤隆治	◎岩 澤 信	◎関 川 翔	◎染 谷 和 博	◎落 合 信太郎	◎齋 藤 久 代
○山野井 隆	○須 田 光 雄	○鈴 木 三 男	○海 東 一 弘	○海 東 一 弘	○小 堤 修
小 堤 修	根岸裕美子	杉 山 尊 宣	細 谷 典 男	鈴 木 三 男	佐 野 太 一
岩 澤 信	久保田 真 澄	佐 野 太 一	山野井 隆	関 川 翔	須 田 光 雄
染 谷 和 博	小 堤 修	石 井 めぐみ	佐 藤 隆 治	石 井 めぐみ	鈴 木 三 男
結 城 繁	落 合 信太郎	金澤克仁	入 江 洋 一	入 江 洋 一	岩 澤 信
赤羽直一	関 戸 勇	齋 藤 久 代	赤羽直一	赤羽直一	落 合 信太郎
加增充子	結 城 繁	遠山智恵子	加增充子	遠 山 智恵子	山野井 隆
					結城繁
					遠山智恵子

^{※ ◎}は委員長、○は副委員長を表す。

常総地方広域市							取手市
町村圏事務組合		組合議会議員					監査委員
議会議員(3人)	(4人)	(4人)	員 (7人)	会議員(5人)	員 (3人)	議会議員(1人)	
関戸 勇	根岸裕美子	海東 一弘	須田 光雄	鈴木 三男	金澤 克仁	落合信太郎	山野井 隆
入江 洋一	岩澤 信	久保田真澄	小堤 修	関川 翔	落合信太郎		
赤羽 直一	染谷 和博	岩澤 信	落合信太郎	齋藤 久代	染谷 和博		
	佐藤 隆治	石井めぐみ	金澤 克仁	赤羽 直一			
			山野井 隆	遠山智恵子			
			結城繁				
			加増 充子				

取手市議会議員 入江 洋一

一部事務組合議会の報告

常総地方広域市町村圏事務組合議会について、議員として下記のとおり出席しましたので、その概要について報告いたします。

記

- 1. 日 時 令和5年10月20日(金)15:00~16:37
- 2. 会議等名称 令和5年第2回定例会、令和5年第4回全員協議会
- 3. 内 容 別紙のとおり。

令和5年第2回定例会報告

- 1. 日 時 令和5年10月20日(金)15:30~16:37
- 2. 会議等名称 令和5年第2回定例会
- 3. 内 容 下記のとおり。

議決結果

番号	議案及び内容	結 果
報告第2号	専決処分事項の報告について(つくばみらい消防署連絡車の物損事故に係る損害賠償の額を定め和解すること) 【内容】 令和5年7月5日午後5時10分頃、茨城県つくばみらい市福田759番地つくばみらい消防署において当組合職員の運転する公用車(つくばみらい連絡車)を駐車場へ停車しようと後退したところ、相手車両に気付かず接触させたものである。	報告
議案第 12 号	常総地方広域市町村圏事務組合職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について 【内容】 当組合の消防では、消防学校・消防大学校等への講師派遣、いばらき消防指令センター及び日本消防協会への協定に基づく職員派遣など、遠隔地へ職員を派遣している。 現在の給与条例では単身赴任手当とそれを根拠とした住居手当の規定がなく、単身赴任を行う場合においても二重に住居費が掛かるなど経済的な負担が重く、やむを得ず自宅から通勤をすることが基本となっており、対象となる職員に経済面・心身面での負担を強いている。そのため、異動して単身赴任となった職員について、これら負担を軽減することなどを目的とした援助制度として月額3万円を支給する単身赴任手当を新たに設け、住居手当や地域手当などの関連する諸手当についても改正する。また、併せて派遣職員の地域手当を派遣先の地域の実情に併せた支給とするための改正を行う。この条例は、令和6年4月1日より施行する。	原案可決

議案第13号

常総地方広域市町村圏事務組合火災予防条例の一部を 改正する条例について 原案可決

【内容】

令和5年5月に公布された消防法関連省令の改正により、脱炭素社会の実現等に向け更なる普及の拡大や大容量化が見込まれる蓄電池設備について、材料・構造等の多様化が進んでいること、JIS(日本産業規格)等の標準規格において、出火防止措置や延焼防止措置等が盛り込まれたことなどから、その種別や安全性に応じた基準とする見直しがされた。

また、炭火焼き器はこれまで炉の規定が適用されており安全な離隔距離を確保する必要があったが、防火上の安全措置が講じられたものもあることから、固体燃料を使用する厨房設備として新たに規定された。

この省令改正に伴い、組合火災予防条例についても所要の措置を講じる改正をする。

この条例は、令和6年1月1日から施行する。

議案第14号

令和4年度常総地方広域市町村圏事務組合一般会計歳 入歳出決算の認定について 認定

【内容】

令和4年度一般会計決算は、収入済額70億6,494万794円、支出済額63億1,281万1,451円で、歳入と歳出の差引額7億5,212万9,343円を翌年度に繰り越した。

歳入の主なものは、関係市町負担金57億3,181万3千円で、歳入全体の81.1%を占める。

歳出の主なものは、衛生費で常総環境センターの運営 管理費及び放射性物質を含む指定廃棄物の管理費として20億3,292万1,159円を支出した。衛生費は歳出全体の32.2%である。

消防費では、消防・救急業務に 25 億 7,644 万 8,289 円 を支出した。このうち 81.9%が人件費であり、消防費は歳 出全体の 40.8%である。

議案第 15 号

令和5年度常総地方広域市町村圏事務組合一般会計補 正予算(第2号)について 原案可決

【内容】

令和5年度一般会計補正予算(第2号)については、 歳入歳出それぞれ3億4,956万1千円を追加し、歳入 歳出予算の総額をそれぞれ71億6,194万6千円とする。 歳入は繰越金を増額し、歳出では総務費と衛生費にお いて人事異動に伴う人件費の異動及び手当の増額等を 行う。

また、令和6年度当初より契約履行が必要なパソコン リースについて、必要な納期を確保するため債務負担行 為を設定する。

令和5年第4回全員協議会報告

- 1. 日時 令和5年10月20日(金)15:00~15:29
- 2. 会議等名称 令和5年第4回全員協議会
- 3. 内容 下記のとおり。

報告事項

(1) 一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画改定の意見公募結果について

常総環境センターでは、一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の改定にあたり、本計画について、住民の意見を広く募集し、当該計画に反映させるためパブリックコメントを実施した。

- ○意見募集期間 令和5年7月18日(火)~令和5年8月17日(木)
- ○主な掲載内容 ・平成 29 年度策定の一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画の目標達成状況
 - ・廃棄物処理の基本方針
 - ・ごみ発生抑制・資源化の施策
 - ・新たなごみ排出目標値
- ○資料の閲覧方法 組合ホームページ

組合事務棟(管理課)常総環境センター

○意見提出者 なし

(2) 可燃ごみの外部搬出処理について

常総環境センター焼却施設は、可燃ごみに金属類が混入することで、焼却設備の熱分解ドラム内に金属塊ができ、これを要因とした設備不具合により焼却能力が減少し、処理しきれない可燃ごみは外部搬出処理にて対応している。

現在、焼却炉1号炉を熱分解ドラム内の加熱管を修理しており、当初計画では令和6年度に3号炉、令和7年度に2号炉について同様の整備を実施する予定であった。しかし、当初計画より2号炉及び3号炉の不具合が進行し早急に施設の健全化を図るため、令和6年度に2号炉及び3号炉の整備を行う。

よって、令和6年度は1炉運転及び全休炉での操業が多くなることから、令和5年度同様に県内外4箇所に外部搬出を実施し、さらに発電率も低くなるので、これまで以上に電力を購入することとなる。

なお、外部搬出に係る費用は運営管理委託事業者のタクマ・タクマテクノス特定 運営業務共同企業体で負担し、電気料金の増額分は運営管理委託料を相殺し対応 することとする。

【令和6年度可燃ごみ搬出計画量】

・さしま環境管理事務組合2,212トン・㈱ナリコー (千葉県成田市)14,976トン・㈱アクトリー (栃木県壬生町)22,008トン

・オリックス資源循環㈱(埼玉県寄居町)1,704トン 合計40,900トン

【令和5年度可燃ごみ搬出計画量】

・さしま環境管理事務組合
 ・㈱ナリコー
 ・㈱アクトリー
 2,175 トン
 11,500 トン
 12,000 トン

・オリックス資源循環㈱ 5,000 トン 合計 30,675 トン

(3) 統一指定ごみ袋の変更について

常総環境センターでは、搬入される可燃ごみにワイヤーや針金などの金属類が混入され、これを原因とした焼却設備の熱分解ドラム加熱管の破損事故が発生し、炉を停止して補修工事を行っていることから、ごみ処理能力が低下している。こうした状況から、組合は可燃ごみへの不適物混入防止の対策として、また、排出者に分別意識を強く持ってもらうために、統一指定ごみ袋の名称を「可燃ごみ専用袋」から「燃やすしかないごみ専用袋」に変更することを検討している。すでに同様の取組をした自治体では、これにより分別が徹底され、可燃ごみが減少し、資源物が増加する効果がみられている。

また、事業所専用袋については、材質を半透明から透明に変更し中身を見えやすくすることで、不適物の混入の予防や不適物の回収を防止する。

これら統一指定ごみ袋の変更については、10月25日に開催する常総環境センター検討委員会においても説明を行い関係例規改正の後、令和6年4月1日からの導入に向け協議を進める。

なお、市場にある旧ごみ袋についてはこれまでどおり利用可能で、順次、新ごみ袋との置き換えを進めていく。

取手市議会議員 根岸 裕美子

一部事務組合議会の報告

茨城県南水道企業団議会について、議員として下記のとおり出席しましたので、その概要について報告いたします。

記

2. 会議等名称 視察研修

3. 内容 下記のとおり

視察日	視察先	視察内容
10月19日	愛知県豊橋市上下水道局	水道事業における IoT 活用推進モデル事業を活用した水 道スマートメーター導入の取組について
10月20日	愛知県名古屋市 愛知時計電機本社・工場	スマートメーター製造現場の見学

取手市議会議員 久保田 真澄

一部事務組合議会の報告

龍ケ崎地方衛生組合議会について、議員として下記のとおり出席しましたので、 その概要について報告いたします。

記

- 1. 会議開催日 令和5年10月27日
- 2. 会議等名称 第2回定例会
- 3. 内容 下記のとおり。
 - 議案第1号 龍ケ崎地方衛生組合情報公開条例の一部を改正する条例について
 - 議案第2号 龍ケ崎地方衛生組合情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改 正する条例について
 - 議案第3号 令和4年度龍ケ崎地方衛生組合一般会計歳入歳出決算について
 - 議案第4号 令和6年度龍ケ崎地方衛生組合分賦金割合について

均等割 5%

実績割 95%

議案第5号 龍ケ崎地方衛生組合議会の個人情報の保護に関する条例について

2名から質疑があり、討論はなく、採決の結果、議案第1号、議案第2号、議 案第4号及び議案第5号は全て可決し、議案第3号は認定しました。

- 4. その他 龍ケ崎地方衛生組合議会先進地視察研修 令和5年11月9日~10日
 - (1) みやま市バイオマスセンター(福岡県みやま市)
 - (2) ふくおか県央環境広域施設組合 汚泥再生処理センター(福岡県嘉麻市)

龍ケ崎地方衛生組合議員である取手市議会議員の参加はありませんでした。

取手市議会議員 落合信太郎

一部事務組合議会の報告

取手地方広域下水道組合議会について、議員として下記のとおり出席しましたので、その概要について報告いたします。

記

- 1. 視察研修について
- (1) 研修日 令和5年10月3日から10月5日まで
- (2) 内容
 - ・佐賀県佐賀市 佐賀市下水浄化センター

下水道資源と地域未利用バイオマスを集約しバイオマスから生み出される循環型エネルギーの有効活用について

(概要)

佐賀市下水浄化センターでは、下水処理場としての機能を適切に果たすことを前提に、下水 道資源と地域未利用バイオマスを集約することで、バイオマスから生み出される循環型エネル ギーを増産し、電力自給率の向上を図っています。下水道資源の有効活用や地域バイオマス資 源の調査研究を図っていく上での参考となりました。

・福岡県北九州市 安川オートメーション・ドライブ株式会社

下水道施設へのA I 導入について

(概要)

社会システム事業である水処理プラントを始めとする社会システムの高度な運転管理・維持管理や水処理プラント向けシステム電気品の種類、そして納入事例(受変電、自家発電、動力、中央監視、計装、遠隔監視、再生可能エネルギー)等の説明を受けました。下水道組合において今後予測される職員数の減少や技術継承などを念頭に置いた、計画的で安定した下水道事業運営のための知見を深めることができました。

・福岡県宗像市 宗像終末処理場 宗像市下水道ビジョン(基本構想)について (概要)

このビジョンは、宗像市における下水道事業の実状と課題を整理し、将来にわたって継続的・安定的に事業を推進していくための事業方針を示すものです。また、このビジョンは、国土交通省の「新下水道ビジョン」を踏まえながら、「宗像市バイオマス産業都市構想」「宗像市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」と連携し、今後の下水道事業を計画的に進めていくためのものです。宗像市の処理場は当組合よりも15年程度先行しており、老朽化した施設更新に向けて下水道組合においても今後同様の課題を検討することとなり、参考事例として学ぶことができました。

取手市議会議員 赤羽 直一

一部事務組合議会の報告

利根川水系県南水防事務組合議会について、議員として下記のとおり出席しましたので、その概要について報告いたします。

記

- 2. 会議等名称 第2回臨時会
- 3. 内容 下記のとおり。
- (1) 令和4年度利根川水系県南水防事務組合一般会計決算について 1名の議員から質疑があり、討論はなく、採決の結果全員賛成で可決されました。
- (2) 令和5年度利根川水系県南水防事務組合一般会計補正予算について 質疑・討論はなく、採決の結果全員賛成で可決されました。

取手市議会議員 染谷 和博

一部事務組合議会の報告

取手市外2市火葬場組合議会について、議員として下記のとおり出席しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 会議開催日 令和5年10月27日 午前10時から

2. 会議等名称 令和5年第3回取手市外2市火葬場組合議会臨時会

3. 内容 下記のとおり

- 認定第1号 令和4年度取手市外2市火葬場組合一般会計決算の認定について
 - 中村管理者から提案理由が述べられ、事務局から決算内容の説明
 - 令和4年度一般会計決算額
 - ・歳入: 2億56万138円(前年比: 3,340万3,103円(19.9%)増) ※ 主な歳入:構成市分担金及び火葬室等使用料
 - ・歳出:1億7,492万8,617円(前年比:3,462万8,151円(24.6%)増)

※ 主な歳出:一般管理費の委託料及び負担金、補助金及び交付金

施設管理費の需用費、委託料及び工事請負費

- · 差引: 2,563 万1,521 円(前年比:122 万5,048 円(4.6%)減)
- 質疑応答と採決がなされ、令和4年度一般会計決算は原案のとおり認定
- 議案第10号 令和5年度取手市外2市火葬場組合一般会計補正予算(第2号)
 - 中村管理者から提案理由が述べられ、事務局から補正予算内容の説明
 - ・ 補正予算の規模: 歳入歳出にそれぞれ1,431万3,000円を追加するもの
 - ・歳入:前年度繰越金:763万1,000円 増額やすらぎ苑周辺整備基金繰入金 668万2,000円
 - ・歳出:施設管理費委託料:668万2,000円 増額
 施設管理費積立金:400万円 増額
 予備費:363万1,000円 増額
 - ・継続費補正:やすらぎ苑周辺整備検討業務

<総額> 1,801万4,000円

<年割額> 令和5年度:668万2,000円

令和6年度:1,133万2,000円

○ 質疑応答と採決がなされ、令和5年度一般会計補正予算(第2号)は原案のとおり可決

取 市 発 第 3 0 8 号 令和 5 年 1 1 月 2 4 日

取手市議会議長 金澤克仁殿

取手市長 中村 修

地方自治法第180条第1項の規定に基づく専決処分について(報告)

地方自治法第180条第1項の規定に基づき、議会の議決により指定された市長の 専決処分事項として下記のとおり専決処分しましたので、同条第2項の規定により報告します。

記

専決処分第16号 損害賠償の額を定め和解することについて

(事故後の対応)当該案件の当事者である市職員に対しては、安全運転管理者及び所属長から、余裕を持った運転を心がけ、安全運転により一層努めるよう指導しました。

専 決 処 分 書

損害賠償の額を定め和解することについて、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、議会の議決により指定された市長の専決処分事項として、次のとおり専決処分する。

令和5年11月6日

取手市長 中村 修

損害賠償の額を定め和解することについて

地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により、自動車事故による損害について、次のとおり賠償し、和解するものとする。

2 事故の概要

令和5年10月17日午後3時30分頃、取手市上高井396番地地先において、市職員が公用車を運転中に道路を右折しようとしたところ、右方向から自転車で走行してきた相手方に接触し、当該自転車を損傷したものである。

3 損害賠償額 39,117円(過失割合 市90:相手方10)

請 願 文 書 表

令和5年第4回定例会

受付	受	付	件	夕 夕		請	願	者	付	託
番号	月	日	117	名		(糸	員)	委員	員会	
4 3	11/	20	保育士等の処	匹遇改善に関	取手下	 卡本郷 4	-10-7	7	福祉	厚生
			する請願		取手下	 有私立幼	1稚園週	車合会		
					代表	宮本	裕次	ほか 461 人		
						(金	冷木三:	男)		
						(木	乡山尊:	宣)		
						(落	合信太	に郎)		

請願 第43号

受付 令和5年11月20日

保育士等の処遇改善に関する請願

紹介議員 鈴木 三男 杉山 尊宣 落合 信太郎

•請願趣旨

人口減少により労働力不足が深刻化している中、保育業界においても、子ども・子育て支援制度創設以来、加速度的に保育士不足が進んできています。特に取手市は東京・千葉にも近く十分通勤圏内に位置するため、好条件の隣接地域への人材流出が深刻な問題になっていて、保育士等の空白地域と言われています。

各施設でも保育士等の人材確保のために、残業時間や持ち帰りの仕事削減のためにICTを導入して業務効率化を図ったり、保育者の業務負担軽減のために保育周辺業務を担当してもらう方を雇ったり、保育士の遠方からの受け入れに対応するために職員寮を整備するなど、様々な対策を立て職場の労働環境の改善に努めてきました。

しかしながら、依然として人材不足は改善されず、各施設の対策や工夫だけでは限界に来ています。

この状況にさらに拍車をかけているのが、周辺自治体が独自で行っている保育従事者支援 措置です。東京都、松戸市、柏市等では、自治体単独で処遇改善として月4万円を超える支 給や家賃補助、奨学金返済支援等の様々なメニューを用意して保育士等を募集しています。

また、茨城県内でもつくば市が月3万円の処遇改善や家賃補助などを用意し、厳しい中でも順調に人材確保につなげています。

この様な周辺自治体の諸施策により取手市の人材が、つくば、千葉・東京に流れていき、取手市が空白地帯となっているのが現状です。

卑近な例では、取手市や連合会主催の合同就職説明会においても、数名の参加者しかおらず、スタートの時点で見向きもされていないことがよくわかります。また、取手市が行った保護者アンケートにおいても、保育士等が不足していることを心配する声もあがっています。 担当する保育士等が確保できないため、子どもの受け入れができない施設もあり、保護者が子どもを預けられないという状況もでてきています。

新市長の公約の「子どもを産み育てやすい街にします」の実現のためにも、保育の人材を確保し、十分な子どもの受け入れを実現し、安全に、質の高い保育を提供するために、市内認可保育施設に勤務する常勤保育士等の処遇改善等の支援措置を求めます。

請願事項

- 1 取手市として、人材確保につながるよう保育士等に対し、処遇改善をお願いします。
- 2 国及び県に対して、さらなる保育士等の処遇改善の財政措置を求める意見書を提出してください。

※保育士等:保育士、保育教諭、幼稚園教諭

以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。 令和5年11月20日

請願代表者

住所 取手市本郷 4-10-7 氏名 取手市私立幼稚園連合会 代表 宮本 裕次 ほか 461 人

一般質問発言順序決定表

令和5年第4回定例会

一般質問1日目 11月29日(水) 議案上程後予定		一般質問2日目 11月30日 (木) 10時開議予定		一般質問3日目 12月1日(金) 10時開議予定		12)	質問4日目 月4日 (月) 時開議予定
質問順位	質問者	質問順位	質 問 者	質問順位	質問者	質問順位	質 問 者
1	染谷	1	佐藤	1	石井	1	根岸
2	海東	2	鈴木	2	結城	2	細谷
3	須田	3	久保田	3	佐野	3	関戸
		4	杉山	4	加増	4	遠山
		5	落合			5	岩澤
						6	赤羽
						7	齋藤

一般質問発言通告事項一覧表

11月29日 (水)

令和5年第4回定例会

質問順位	質問者	質問事項	質問要旨	答求》		
1	染谷和博	アウティング禁止条 例の制定について	1 LGBTなど性的少数者への理解増進法には禁止が明記されておらず、国に先んじて人権擁護に取り組む		育	長長
		クーリングシェルタ ー (環境省モデル事 業) について	1 公共施設だけでなくショッピングセンター などの民間施設の冷房が効いた部屋を「クー リングシェルター」として事前に指定し、開放 する	市		長
		フリーマーケットア プリの利用について	1 不用品などのフリーマーケットアプリでの 販売、特に賞味期限が近づいた備蓄の非常食 など	市		長
		放課後子どもクラブ での昼食提供につい て	1 小学生の夏休みに伴う放課後子どもクラブでの昼食提供の推進	教	育	長
2		本市の小学生児童へのキャリア形成と自己実現に向けられた 指導・支援について	 本市の考え方 現在の取組状況とキャリア・パスポートとの関係 本市小学校間の差異の把握と指導力向上等の方策 保護者との関わりと協力体制 進学先や志望校の見学と職場体験 民間企業等の活用 	教	育	長
3	須田光雄 議 員	地域の活性化や産業 振興の育成について	1 イベントや祭り等の伝統行事に対する支援 2 祭りなど市の伝統文化、行事の承継	市		長
		やすらぎ苑 (火葬場) について	1 利用状況 2 施設及び設備	市		長
		ふれあい道路(戸頭 地区)の整備につい て	 これまでの補修実績 道路舗装状況調査の結果 今年度の設計状況 整備効果 	市		長

11月30日(木)

1 1/1	30 H (/N)		- 749 千5	17 I	
質問 順位	質問者	質 問 事 項	質問要旨		弁 を める者
4		桑原地区 (イオンタ ウン・モール) の進 捗状況について	 桑原開発の目的と期待される効果 関係機関との進捗状況 準備組合における地権者の合意形成 事業協力者の意向と取組状況 今後のスケジュール 	市	長
		取手駅西口の再開発 事業について	1 取手駅北土地区画整理の進捗状況 2 最終仕上げ工事の見通し 3 今後、造成工事から再開発事業へ進めてい くのか 4 再開発事業の意義、市の認識 5 現在の進捗状況 6 都市計画決定の見通し 7 都市計画決定はどのようなものか 8 公共施設整備の考え方と検討している進 捗状況	市	長
5	鈴木三男	ごみ減量の取組について	1 市のごみ減量の具体的な取組 2 家庭ごみ排出量実態調査の取組状況と効果 3 生ごみ処理機等購入補助金及び資源物回収助成金の過去の実績と効果 4 食品リサイクル施設での堆肥化事業の現状と課題 5 NPO緑の会とコミュニティショップひだまりの協働事業	市	長
6	久保田真澄 議 員	終活支援について	1 身寄りのない高齢者への対応(1)葬儀、納骨など2 終活支援事業の導入	市	長
		女性の健康について	 女性の健康について行っていることは(検診など) プレコンセプション(妊娠前)ケアの導入 (プレコン・チェックシート、プレコンノート) 	市	長
7	杉山尊宣 議 員	特殊詐欺を減らすた めの取組について	 市における特殊詐欺の発生件数、主な手口、課題 取手警察署との連携 これまで市が行ってきた取組 今後の詐欺対策 	市	民

8	空き家ワンストップ 相談窓口について	2	空き家にしない、長期化させない取組 地元不動産団体と連携したワンストップ 目談窓口の開設	市	長
	まちをきれいにする 条例について	1 2	さらなる啓発活動の取組 罰則の強化	市	長

12月1日(金)

	1口(亚)		140 140	42 I		12
質問順位	質問者	質問事項	質問要旨		弁 める	
9		子育て環境の充実 について	 子育て支援の課題 産前産後の支援 働く子育て世代への支援 子どもを産み育てやすいまちづくり 	市		長
		介護保険制度の見 直しについて	 3年に1回の介護報酬の見直し 介護報酬地域区分 	市		長
10	結城 繁議 員	市長の政策と政治 姿勢について	1 市長就任して約9か月、その間「住み続けるほど好きになる街をつくる」ために力を入れて取り組んだ施策2 市長としての情報発信	市		長
		取手駅周辺について	 駅前の活性化 東西駅前のイルミネーション事業 ペデストリアンデッキの活用 A街区商業棟 千代田線土日の復活 羽田空港アクセス線(東山手ルート) 	市		長
		行政のDX推進に ついて	1 オープンデータの取組	市		長
11		農業の活性化について	1 国の農業政策と自治体農政の在り方について所見を問う 2 現在取り組んでいる農業活性化の取組の手立ては 3 他の自治体の成功例を生かし選択肢を増やす取組を求める 4 農業後継者不足に取り組む「農業後継者支援プロジェクト」などの新たな取組を求める		委会	長長
		公共施設等、市内施 設へのWi-Fi設 置について	 公共施設のWi-Fi設置状況は 観光、教育、市民サービスからの設置の必要性 防災、減災からの設置の必要性 	市教		長長
		全ての市民が安全 で安心できる道路 整備とバリアフリ ーについて	1 視覚障がい者誘導用ブロック、進入防止ポールについてとその不適切な設置個所 2 車椅子利用者、ベビーカー利用者、高齢者、 通学児童、他から見た道路状況の問題点と改善	市教		長長

12	加増充子員	西口開発について	1 区画整理事業 (1)駅前交通広場の供用開始及びA街区の使用収益開始までのスケジュールを明確にすること (2)繰り返される事業遅延と事業費拡大 2 再開発事業 (1)公開(平成29年)されたA街区の事業計画立案業務委託報告後の計画案検討の経過と到達点を伺う (2)施設機能と施設規模 (3)公共公益施設の目的と導入施設及び規模の検討とその部署と経過 (4)迫られる再開発区域の見直し、土地利用の変更 (5)再開発事業は白紙に戻し、土地利用は地権者を主体に見直し検討すること。市は再開発事業から撤退すること	市教	育	長 長
		子育て支援策について	1 子育て支援は社会の責任で行われるべき (1)学校給食は、「義務教育は無償」の憲法どおりに無償化に踏み出すこと ・物価高騰など経済負担が多くなり、子育て支援の一助になる給食の無償化は不可欠 ・学校給食無償化への検討はされてきたのか ・年間予算の1%に満たない財源で可能 (2)子どもの医療費完全無料化 ・窓口負担600円が負担となっている。窓口負担ゼロを求める	市教	育	長長

12月4日 (月)

	4日(月)		T7410 十分	14 +	- //-	127
質問順位	質問者	質問事項	質問要旨		弁 める	
13		コミュニティバス緊 急ルートダイヤ改正 と地域公共交通計画 策定について	 市民への情報発信は コミュニティバスの現状 地域公共交通計画策定に生かすために 	市		長
		双葉地区 内水被害 対策について	1 双葉地区内の流水分析と排水2 ゲリラ豪雨に対する浸水被害対策	市		長
		福祉施設(民間)の 監査状況について	 名施設の監査状況 働く人の待遇、職場環境の実態把握 県・国への要望 監査室の設置検討 	市		長
1 4		大谷翔平氏から全小 学校へのグローブ寄 贈について	1 小学校へのスポーツ用品、用具などの寄附はどのように取り扱っているのか2 大谷氏からの寄贈を教育上どのように活用するよう指導するのか3 贈られるグローブ(右用2、左用1)はどのように扱うのか	教	育	長
		給食について	1 学校における給食の役割(1)栄養や生活上の観点か、それとも食育の生きた教材と見るか2 食材費は保護者負担とする根拠3 食材費高騰に対する対応	教	育	長
		空き家対策について	1 市内における空き家の現状2 条例改正後の状況3 特定空家の対処4 管理不全空家の対処(1) ペナルティーは何か5 空き家活用	市		長
		空き地対策について	 市内における空き地の現状 空き地がもたらす影響 法、条例整備の必要性 	市		長
		桑原開発について	1 課題は何か	市		長
		取手駅西口開発と区 画整理事業について	1 課題は何か	市		長

15	1	勇 令和6年度予算編成 員 について	1 市民の日常に欠かせない道路や排水などの生活基盤整備計画に変化はあるのか 2 市民に取手の魅力を再発見してもらえるような取組とはどのようなものか 3 環境教育の充実をどのように図るのか 4 防災と防犯が行き届いたまちづくりとはどのようなものか	市教	育	長長
		市道 0106 号(ふれあい道路)の戸頭地区の道路改修について	2 これまでと違う工事の内容は	市		長
		市道 1 - 2065 号の 改修について	1 現状をどのように認識しているか2 改修を急いで行うべき	市		長
		緑のカーテンについて	1 緑のカーテンを市役所庁舎の正面に 2 市民参加を増やすための取組	市		長
		ムクドリ対策について	1 ムクドリを増やさない工夫を	市		長

16	遠山智恵子 議 員		1 生活の場とする児童クラブと、居場所づくりとする遊び場の子供教室の部屋の確保と運営状況2 直営と民営化されたクラブの運営状況とその課題3 支援員及び補助員数4 藤代小のクラブに室内トイレ設置	教	育	長
		国民健康保険事業について	1 18歳以下の第1子のみ均等割額の半額減免としているが、直ちに全額減免とするべき 2 他市とは比較にならない基金額であり、さらなる保険税額の引下げで被保険者に還元するべき(均等割の減免)	市		長
		地域公共交通問題について	 コミュニティバス運行についての目的 路線バス走行とコミバス運行ルート 市民の公平化からの各利用料金 9年間空白地域にしてきた責任は大きい。 ルート改定までの間だけでもタクシー補助券 の発行を提案するがどうか 	市		長
		防災問題(避難所等)について	1 藤代地域の指定されている避難所について は不安の声が届いている。「安心して住み続け られる取手市」にしたいがどのように応えて いくのか	市		長
17	岩澤 信議 員	学校体育・スポーツ 環境について	1 子どもたちの体力・運動能力調査の現状2 授業での体育指導3 スポーツ団体との連携4 大リーグ大谷翔平選手寄贈グローブの活用 方法	教	育	長
18		体育館の整備について	1 小中学校の暑さ対策2 クライミングウォールの設置	教	育	長
		小規模特認校の成果 について	1 山王小学校の現状と未来	教	育	長
			·	_		_

19	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	「こども家庭庁」発 足に伴う組織編制と 「こども基本法」に 沿った市の子育て支 援の今後について	 取手の「こどもまんなか」を実現するために (目指すところ) 課題として捉えていること 子どもや若者、子育て世代の意見を聴くため に 	市教	育	長長
		寄贈本「しあわせの まよいねこ」をご縁 に「平和」や「共に 暮らす」大切さを広 げる取組を	1 寄贈本「しあわせのまよいねこ」学校での反応2 今後の活用をどう考えているか3 作者及び企画者を招いての講演会	市教	育	長長
		動物愛護精神の普及 (ペットと人が幸せに暮らす地域) について	1 募金箱の設置 2 市オリジナルエチケット袋の作成配布	市		長